

ダンス・レジデンス 2018 工藤 聡 Satoshi Kudo

稽古場公開／作品試演会(成果報告会)

「ダンス・レジデンス」とは、国内外で活躍するアーティストに新しい作品創造のための稽古場と滞在場所を提供し、アーティストへの支援をおこなうとともに、ワークショップ・試演会等を開催し、市民とアーティストの交流の機会を設け、舞踊や身体表現を身近に体験していただくプログラムです。

名古屋市出身、スウェーデン在住で国際的に活躍中の振付家・ダンサー工藤 聡ほかアーティスト3名が、11月26日から12月8日まで豊橋に滞在し、PLATにてダンス作品創作・稽古を行います。

期間中、以下の日程で稽古場公開と作品試演会を行います。創作過程の様子や作品の一部を間近で観る機会です。お気軽にお越しください。

◆稽古場公開

創作過程や稽古の様子をスタジオ内で出入り自由にご覧いただけます。無料・申込不要。

【日時】 2018年12月2日(日)16:00～18:00

【会場】 PLAT 創造活動室 A

◆作品試演会(成果報告会)

創作作品の一部を試演いたします。その後、アーティストによる作品や創作についてのトークを行います。無料・申込不要。

【日時】 2018年12月8日(土)16:00～17:00

【会場】 PLAT 創造活動室 A

お問合せ 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123 TEL.0532-39-8810 FAX.0532-55-8192

主催 豊橋市 公益財団法人豊橋文化振興財団

※本事業は、「豊橋アーティスト・イン・レジデンス2018 アートによる魅力発信事業」において実施されています。





Photo:Piotr Korytowski

工藤 聡 Satoshi Kudo

振付家、ダンサー。名古屋市出身。上京後、宮崎渥巳に師事、ニューヨーク留学を経て、現在スウェーデン在住歴20年。

2001年にオハッド・ナハリン作品出演、ディニッシュ・ダンスシアターで活動をした後、シディ・ラルビ・シェルカウィのダンサー兼、振付アシスタントとして2006年から2013年まで活動。

2015年には王立スウェーデンバレエにおいてリハーサルディレクターとしてマッツ・エクの『白鳥の湖』などのコンテンポラリーダンス作品全般を担当した。日本人振付家との交流もあり、平山素子、伊藤郁女、大植真太郎、稲尾芳文らともコラボレーションを行なっている。

振付家としては、2005年から研究しているバランス感覚の解放をテーマにした「モーション・クオリア」をもとに作品を創作し続けている。

【滞在日程】2018年11月26日(月)～12月8日(土)

【活動場所】穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 A

【滞在アーティスト】工藤 聡、Claire Camous(クレア・カムース)、豊永洵子、村田勇人

【活動内容】12月に長久手市文化の家にて上演予定である、以下のダンス公演の作品制作

公演名:工藤 聡 振付作品

『Credo(クレド - 信じる)』

出演:村田勇人、豊永洵子

『Necessitudo(ネセシテュード - 関係性)』

出演:工藤 聡、Claire Camous

日程:2018年12月14日(金)19:30開演

会場:長久手市文化の家 風のホール

料金:全席自由 一般2,500円、学生1,500円

チケット取扱:長久手市文化の家 0561-61-2888 ほか

主催:長久手市

『Credo(クレド - 信じる)』

2016年に創作した『シールエ』のスピノフ。他人を信じることから、自分を信じることで変わっていく心境や行動に焦点を当てた作品。

『Necessitudo(ネセシテュード - 関係性)』

強制と依存に焦点を当て、身体的極限に支配される感情が、時間によって変化していく二人の関係性を表現した作品。

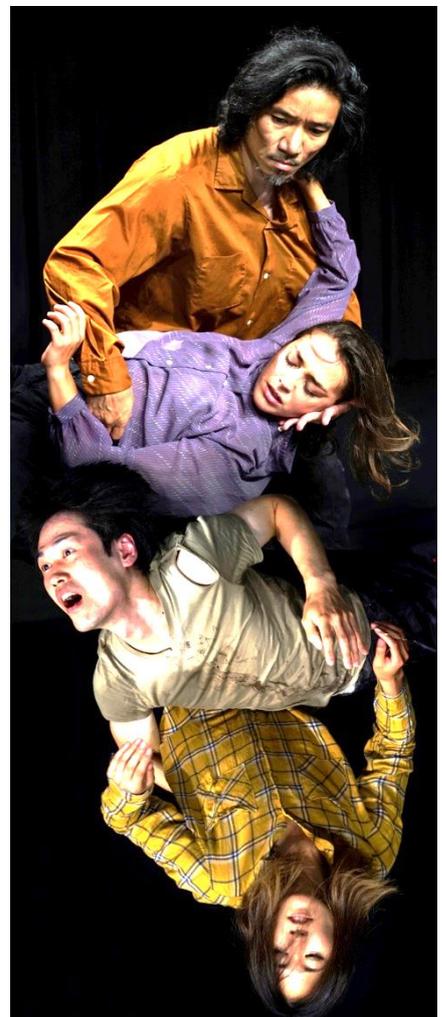


Photo:Björn Abelin/永瀬 尊